

ホタテガイ採苗速報

一部地域で産卵が始まりました

平成23年2月21日～22日に湾内7地点で養殖2年貝の母貝調査を、平成23年2月21日に東湾の3地点で地まき貝の母貝調査を、平成23年2月21日～3月1日に湾内22地点で半成貝（平成22年産貝）の母貝調査を、平成23年2月22日に湾内9定点でホタテガイ等のラーバ予備調査をそれぞれ行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ母貝調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、東湾平均で25.5、全湾平均では24.1と、前回（東湾23.4、全湾23.2）よりもやや増加しましたが、西湾平均では22.2と、前回（22.9）よりもやや減少し、一部地域で産卵が始まった模様です（図1～3）。各地の測定結果は表1のとおりです。

地まき貝の生殖巣指数は、東湾平均で17.7と、前回（18.0）とほぼ同じ状況となっています（図4）。各地の測定結果は表2のとおりです。

半成貝（平成22年産貝）の生殖巣指数は、西湾平均で8.6、東湾平均では9.0、全湾平均で8.8となっています。また、久栗坂実験漁場では10.3と、平年（13.0）よりもやや低い状況となっています（図5）。各地の測定結果は表3のとおりです。

2 ホタテガイ等ラーバ予備調査結果

2月22日のホタテガイラーバ出現数は、全湾平均で17個/トンとなっています。

ムラサキガイのラーバ出現数の全湾平均値は、188個/トン、キヌマトイガイでは2,153個/トンと、いずれも昨年同期（2月24日）調査時（それぞれ153個/トン、947個/トン）よりも多い値でした。

3 海況

2月26日～28日の陸奥湾の水温は平館ブイで8.4℃、青森ブイで4.6～4.7℃、東湾ブイで3.0℃で、平年と比べると、平館ブイの1m層～30m層で平年並み、底層でやや高め、青森ブイの1m層、30m層および底層でかなり低め、15m層でやや低め、東湾ブイの全層でやや低めとなっています。

4 今後の見込み

西湾および東湾の一部地域で小規模ながら産卵が始まりました。今のところ卵質は良好ですが、産卵の刺激となる急激な水温上昇が見られないことから、**産卵は全湾的に停滞気味です**。産卵の状況および採苗器投入時期については今後の情報を参考にしてください。

また、今年は母貝数が例年よりも少ないため、ラーバの出現数も少ないことが予想されますので、効率よく稚貝を確保するために採苗器を例年よりも多めに準備してください。

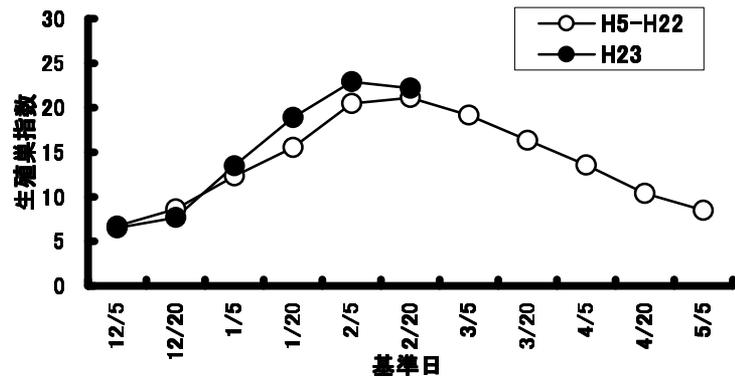


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(西湾平均)

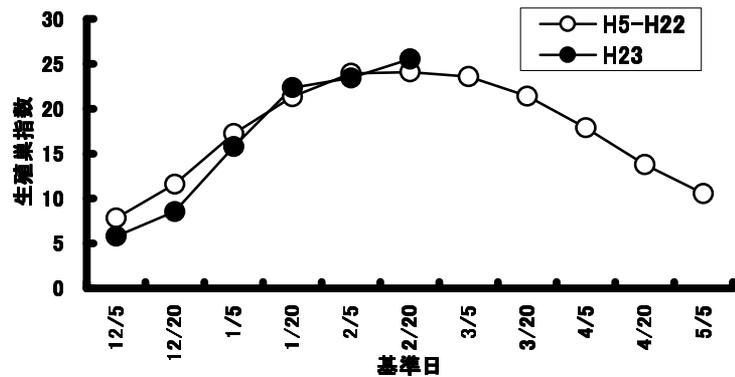


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(東湾平均)

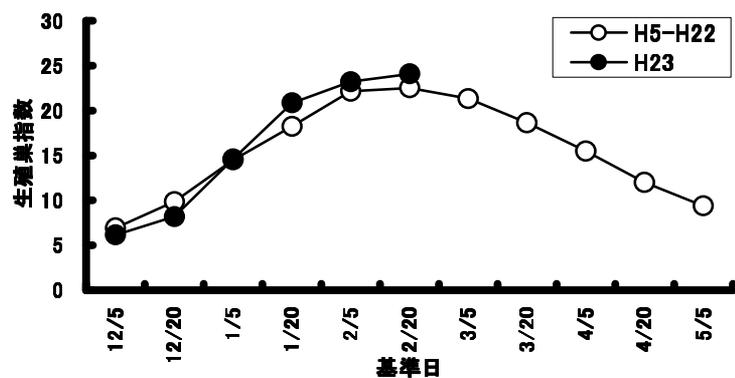


図3 養殖2年貝の生殖巣指数の変化(全湾平均)

広がる海の知識！
身につける新たな技術！ 漁業後継者育成研修『賓陽塾』
塾生募集中！！ 詳しくは水産総合研究所 ほたて貝部まで

発行元：地方独立行政法人
青森県産業技術センター 水産総合研究所
住所：青森県東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
TEL：017-755-2155 FAX：017-755-2156
ホームページURL：http://www.aomori-itc.or.jp/
携帯電話URL：http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=2224

